

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

# 東京都感染症週報

2011年第40週  
(10月3日～10月9日)

- \* 2011年10月12日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- \* 今週は感染症豆知識「コクシジオイデス症」も掲載しています。

平成23(2011)年10月13日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

# 全数把握対象疾患 報告数 2011年40週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		37週	38週	39週	40週		40週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎					1		1
	結核	113	63	91	77	3,738	372	23,213
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
三類	コレラ					1		8
	細菌性赤痢	1	1	1	2	54	5	231
	腸管出血性大腸菌感染症	8	3	10	8	230	91	3,321
	腸チフス		1	1		5		18
	パラチフス					9		20
四類	E型肝炎			1		8		48
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1				23	3	157
	エキノкокクス症					1		13
	黄熱							
	オウム病					3		11
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					2		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							6
	つつが虫病					8		170
	デング熱		1	2		19	2	83
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)							
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1	2	115
	日本脳炎					1	1	6
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							3
	マラリア		1	1	1	20		59
野兔病								
ライム病					3		6	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽							2	
レジオネラ症	5	1	1		54	27	607	
レプトスピラ症					3		17	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		37週	38週	39週	40週		40週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	2	2	6	134	8	627
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1			1	30	2	192
	急性脳炎 *2					13	2	203
	クリプトスポリジウム症					2		7
	クロイツフェルト・ヤコブ病					13	1	100
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1		28		159
	後天性免疫不全症候群	5	9	11	10	312	13	1,094
	ジアルジア症		1			9	2	52
	髄膜炎菌性髄膜炎					2		7
	先天性風しん症候群							1
	梅毒	8	2	4	7	180	11	585
	破傷風					6		89
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					1	1	45
	風しん			1		27	2	325
麻しん				2	166	2	402	
2011/10/12集計								

\*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

### (全数把握対象疾患のコメント)

#### 〈二類感染症〉

**結核 77件** 肺結核 30件、その他の結核 45件、肺結核及びその他の結核 2件、年齢は5～9歳 1件、10代 1件、20代 11件、30代 18件、40代 11件、50代 10件、60代 11件、70代 8件、80代 4件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 75件、中国 1件、マレーシア 1件であった。

#### 〈三類感染症〉

**細菌性赤痢 2件** 患者 2件、菌種はソクネ 1件、不明 1件、推定感染地は東京都 1件、ネパール 1件、推定感染経路は経口及び接触感染 1件、その他(不明) 1件であった。

**腸管出血性大腸菌感染症 8件** 患者 7件、無症状病原体保有者 1件、血清型・毒素型はO157 VT1・VT2 3件、O157 VT2 2件、O157 VT1 1件、O111 VT1・VT2 1件、血清型不明VT2 1件、年齢は10歳未満 2件(うち5歳未満 2件)、10代 3件、20代 1件、30代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 8件(東京都 7件、不明 1件)、推定感染経路は経口感染 4件、その他(不明) 4件であった。経口感染 4件のうち焼肉(2件)、生肉(1件)の喫食を認めている。

#### 〈四類感染症〉

**マラリア 1件** 患者、年齢は30代、病型は不明、推定感染地はブルキナファソであった。

#### 〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 6件** 腸管 5件、腸管及び腸管外 1件、年齢は30代 2件、40代 3件、50代 1件、推定感染地は国内 4件、国外 2件、推定感染経路は経口感染 4件、性的接触(異性間) 1件、その他(不明) 1件であった。

**ウイルス性肝炎 1件** B型、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(異性間)であった。

**後天性免疫不全症候群 10件** AIDS 3件、無症候キャリア 6件、その他 1件、AIDS患者の年齢は30代 1件、40代 1件、50代 1件、無症候キャリア及びその他の年齢は30代 3件、40代 3件、50代 1件、推定感染地は国内 8件、不明 2件、推定感染経路は性的接触 8件(同性間 5件、異性間 2件、両性間 1件)、その他(不明) 2件であった。

**梅毒 7件** 早期顕症梅毒Ⅰ期 1件、早期顕症梅毒Ⅱ期 4件、晩期顕症梅毒 1件、無症候梅毒 1件、推定感染地は国内 7件、推定感染経路は性的接触 5件(同性間 4件、性別不明 1件)、その他(不明) 2件であった。

**麻しん 2件** 検査診断例 1件、臨床診断例 1件、年齢は20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 1件、国外(マレーシア、フランス及びポルトガル) 1件、麻しん含有ワクチン接種歴は1回接種 1件、不明 1件であった。検査診断例 1件は、国外感染事例で、麻しん遺伝子型はD9型が検出された。

※第38週で報告のあった、五類 麻しん 1件は削除された。

## 定点把握対象疾患 報告数 2011年40週

定点種別	対象疾患	2011年					報告医療機関数	定点医療機関数
		37週	38週	39週	40週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	126	104	175	143	0.56	257	264
	咽頭結膜熱	71	25	32	30	0.12		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	182	145	243	251	0.98		
	感染性胃腸炎	877	615	862	879	3.42		
	水痘	112	95	111	135	0.53		
	手足口病	1,056	884	680	410	1.60		
	伝染性紅斑	44	23	44	40	0.16		
	突発性発しん	194	142	163	156	0.61		
	百日咳	1	6	1	7	0.03		
	ヘルパンギーナ	502	308	277	132	0.51		
	流行性耳下腺炎	65	72	78	61	0.24		
	川崎病(注1)	1	2	7	4	0.02		
	不明発しん症(注1)	28	28	22	39	0.15		
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	10	8	6	7	0.02	407	419
眼科	急性出血性結膜炎						36	39
	流行性角結膜炎	21	12	17	17	0.47		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	1		1			25	25
	無菌性髄膜炎	5	4	7	4	0.16		
	マイコプラズマ肺炎	37	34	32	54	2.16		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		1	1				
	インフルエンザ入院(注4)							
2011/10/12集計								

(注1) 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

(注4) 36週より開始

### (今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・RSウイルス感染症の定点当たり報告数は減少したが、過去5年平均と比較して高い値で推移している。
- ・手足口病の定点当たり報告数は減少し、流行警報が解除となった。
- ・マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年平均と比較して高い値で推移している。

### (小児科・内科定点医療機関からのコメント)

#### 大田区

- ・肺炎が多い。

#### 世田谷区

- ・マイコプラズマ肺炎 数名。
- ・マイコプラズマ肺炎 5名。(採血orX-Pにて診断)
- ・マイコプラズマ肺炎 1歳児 1名。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:溶連菌が増加してきています。

#### 荒川区

- ・感染性胃腸炎:患者の便培養(重複有り) 病原性大腸菌O6 2名、O15、O18、O25 各1名。  
クロストリジウム・ディフィシル、クロストリジウム・パーフリンゲンス 各1名。

#### 板橋区

- ・感染性胃腸炎:病原性大腸菌O1 1名、カンピロバクター 1名。

#### 多摩小平

- ・感染性胃腸炎:病原性大腸菌 1名、サルモネラ菌 1名、カンピロバクター 1名。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2011年40週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～6か月	16			16	3		1	3		
～1歳	26	1		86	13	42	2	77		18
1歳	64	3	9	124	17	107	2	65		29
2歳	18	4	7	80	27	90	5	8		25
3歳	9	7	17	83	23	59	12	1		14
4歳	6	2	32	85	22	37	4	2		16
5歳	1	5	43	59	15	22	6		1	12
6歳	1	1	34	43	5	15	4			4
7歳			36	40	3	10	2		2	5
8歳	1		14	34	1	12	1			1
9歳		3	15	35	3	2	1		1	1
10～14歳	1	1	35	92	1	7				5
15～19歳		1	1	18						
20～29歳		2	8	84	2	7			3	2
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	143	30	251	879	135	410	40	156	7	132
先週比	-32	-2	8	17	24	-270	-4	-7	6	-145

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～6か月		1	1			
～1歳			7			
1歳	3	1	17	1		
2歳	3	1	3			
3歳	10		4			
4歳	6	1		2		
5歳	12					1
6歳	6		2	1		
7歳	8		4			
8歳	1					1
9歳	3					
10～14歳	6		1			1
15～19歳				2		
20～29歳	3			1		4
30～39歳						4
40～49歳						1
50～59歳						2
60～69歳						1
70～79歳						2
80歳以上						
合計	61	4	39	7		17
先週比	-17	-3	17	1		

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

### 全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2011年40週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		1
30～39歳		1
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計		2

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2011年40週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田				2						2
中央区	1		1	4	2	8		4		3
みなと	4		7	29		4		5		1
新宿区	3		9	17	4	1		3		1
文京				3		1	3	1		3
台東	1			17		6		1		
墨田区	5	2	3	2	2	11		6		1
江東区	10		6	51	5	38	2	7		12
品川区	4	1	11	23	1	10	2	7		3
目黒区			4	10	3	1				
大田区	13	9	16	94	5	12	3	9		9
世田谷	8	2	29	36	13	23		8	1	4
渋谷区	2	1	1	6	2	1		2		
中野区	1		7	15	4	5	1	3		
杉並	1		9	60	1	10	2	3		
池袋			1	8		3				
北区	1		1	15	3	14		3		
荒川区	15		4	14	2	9		3	2	
板橋区	6		3	18	4	3	1	5		1
練馬区		3	4	47	15	19	1	11		8
足立	2		17	76	2	13		9		7
葛飾区	3		6	19	11	6	1	4		3
江戸川	8	4	9	50	4	15		7		16
八王子市	10	1	28	54	11	46	3	11		11
町田市		1	17	54	8	34	1	4		7
西多摩	7		2	19	4	19	2	2		2
南多摩	9	2	9	16	5	28	6	4		11
多摩立川	6		1	30	7	18		2	1	5
多摩府中	12	2	16	40	3	19	7	25		10
多摩小平	11	2	30	50	13	33	2	7	3	12
島しょ					1		3			
東京都合計	143	30	251	879	135	410	40	156	7	132

全数把握対象疾患  
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2011年40週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田						
中央区		1				2
みなの				1		
新宿区	4		1			
文京	1					1
台東	1					
墨田区						
江東区	2		4	1		1
品川区	2					
目黒区						
大田区	2		1			
世田谷	2	1	6	3		
渋谷区						1
中野区	8		2			2
杉並	5					
池袋	1					1
北区	4					1
荒川区	1					
板橋区	2		1			1
練馬区	5					1
足立	3		3			1
葛飾区			1			
江戸川	1		4			
八王子市	5		5			1
町田市	2			2		
西多摩	1		1			
南多摩	1		1			
多摩立川	1	1	3			
多摩府中	4		4			
多摩小平	3	1	2			4
島しょ						

東京都合計	61	4	39	7	-	17
-------	----	---	----	---	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなの		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		1
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
町田市		
西多摩		
南多摩		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		1
島しょ		

東京都合計		2
-------	--	---

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2011年40週

定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田				0.67						0.67
中央区	0.33		0.33	1.33	0.67	2.67		1.33		1.00
みなと	0.67		1.17	4.83		0.67		0.83		0.17
新宿区	0.38		1.13	2.13	0.50	0.13		0.38		0.13
文京				0.75		0.25	0.75	0.25		0.75
台東	0.25			4.25		1.50		0.25		
墨田区	1.00	0.40	0.60	0.40	0.40	2.20		1.20		0.20
江東区	1.11		0.67	5.67	0.56	4.22	0.22	0.78		1.33
品川区	0.50	0.13	1.38	2.88	0.13	1.25	0.25	0.88		0.38
目黒区			0.80	2.00	0.60	0.20				
大田区	1.08	0.75	1.33	7.83	0.42	1.00	0.25	0.75		0.75
世田谷	0.50	0.13	1.81	2.25	0.81	1.44		0.50	0.06	0.25
渋谷区	0.50	0.25	0.25	1.50	0.50	0.25		0.50		
中野区	0.14		1.00	2.14	0.57	0.71	0.14	0.43		
杉並	0.10		0.90	6.00	0.10	1.00	0.20	0.30		
池袋			0.25	2.00		0.75				
北区	0.14		0.14	2.14	0.43	2.00		0.43		
荒川区	3.75		1.00	3.50	0.50	2.25		0.75	0.50	
板橋区	0.60		0.30	1.80	0.40	0.30	0.10	0.50		0.10
練馬区		0.23	0.31	3.62	1.15	1.46	0.08	0.85		0.62
足立	0.17		1.42	6.33	0.17	1.08		0.75		0.58
葛飾区	0.38		0.75	2.38	1.38	0.75	0.13	0.50		0.38
江戸川	0.67	0.33	0.75	4.17	0.33	1.25		0.58		1.33
八王子市	0.91	0.09	2.55	4.91	1.00	4.18	0.27	1.00		1.00
町田市		0.13	2.13	6.75	1.00	4.25	0.13	0.50		0.88
西多摩	0.88		0.25	2.38	0.50	2.38	0.25	0.25		0.25
南多摩	1.00	0.22	1.00	1.78	0.56	3.11	0.67	0.44		1.22
多摩立川	0.43		0.07	2.14	0.50	1.29		0.14	0.07	0.36
多摩府中	0.71	0.12	0.94	2.35	0.18	1.12	0.41	1.47		0.59
多摩小平	0.73	0.13	2.00	3.33	0.87	2.20	0.13	0.47	0.20	0.80
島しょ					1.00		3.00			

東京都	0.56	0.12	0.98	3.42	0.53	1.60	0.16	0.61	0.03	0.51
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

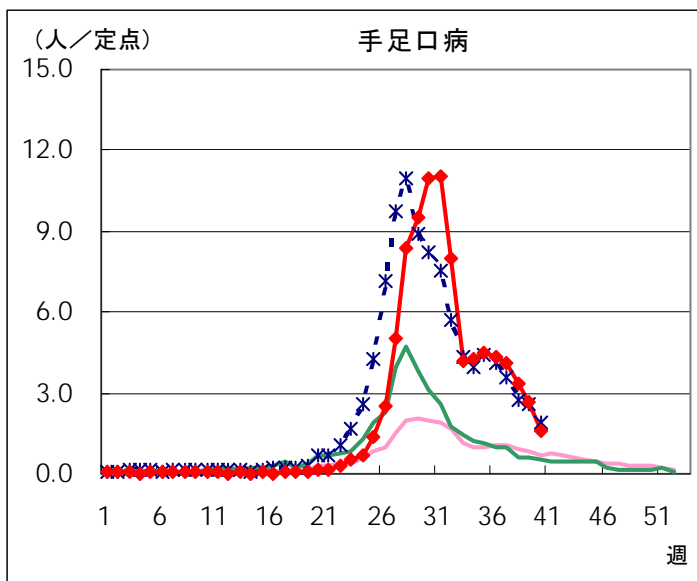
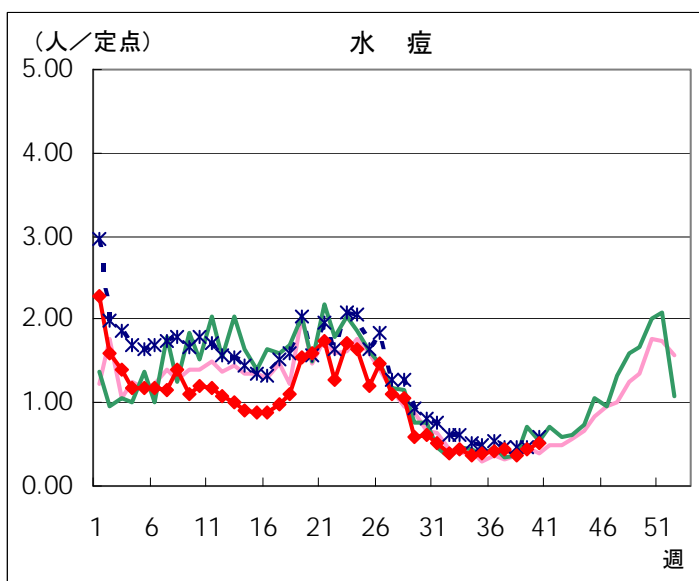
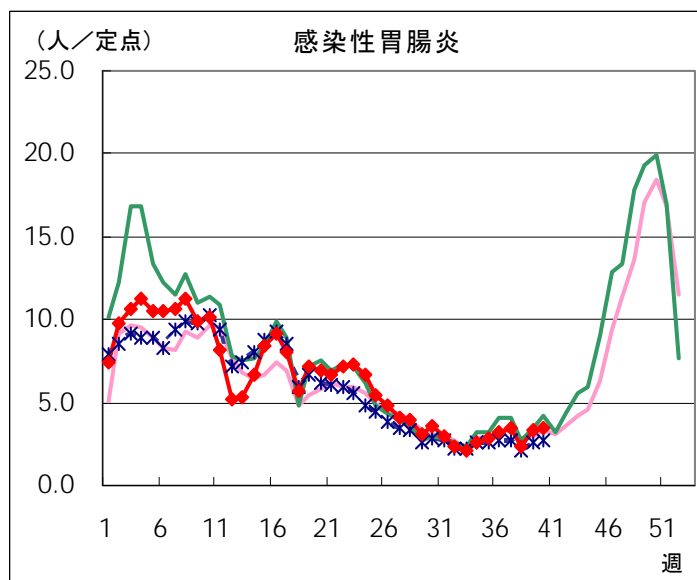
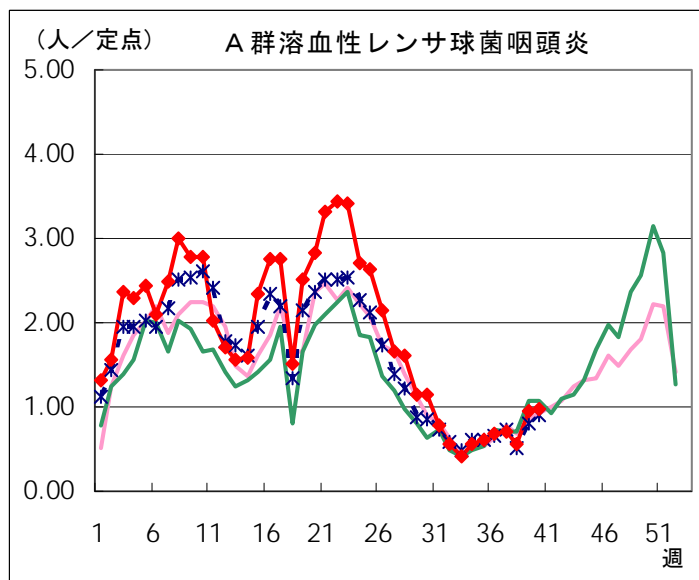
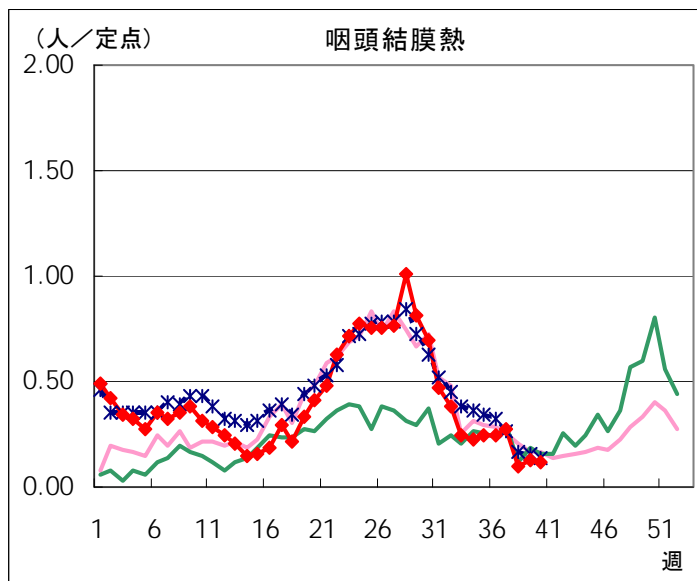
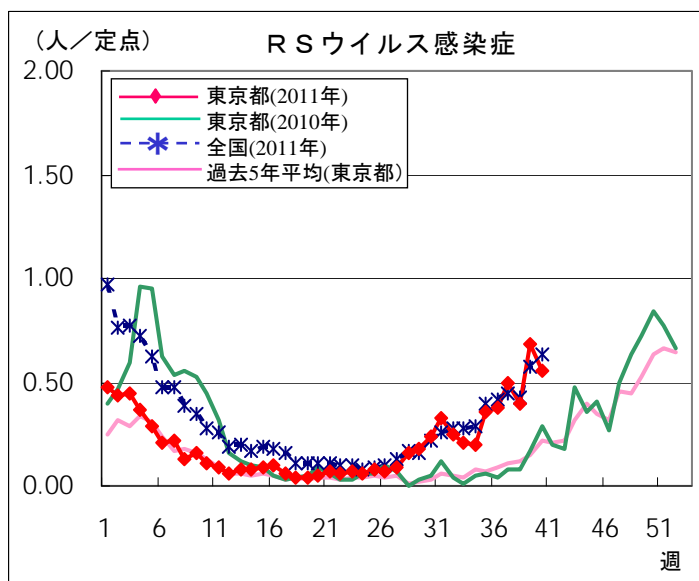


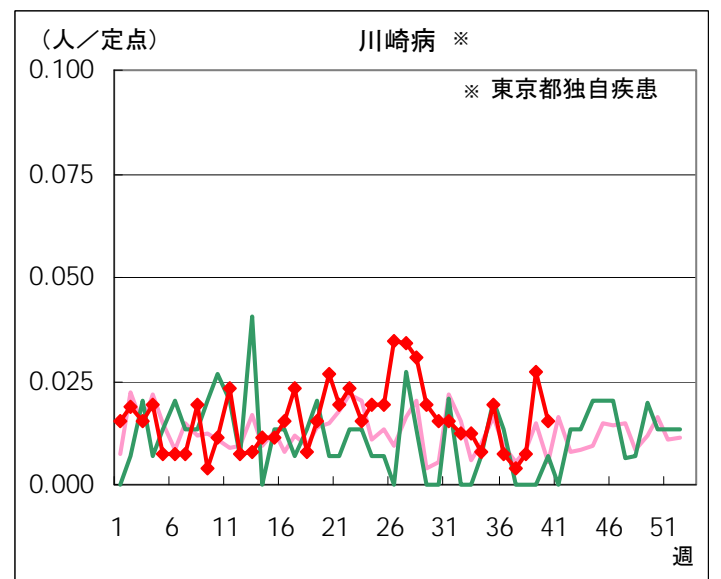
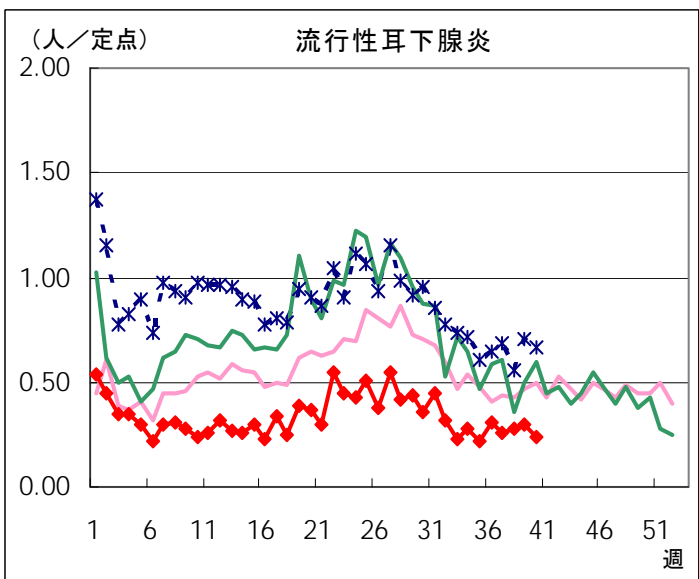
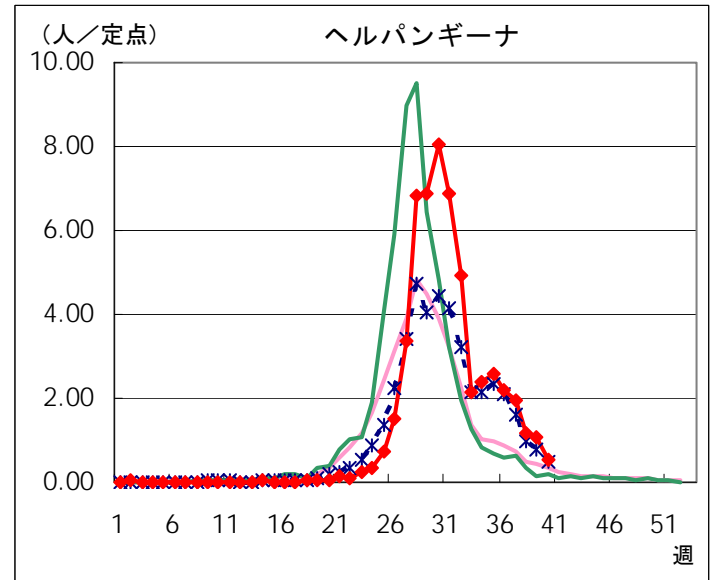
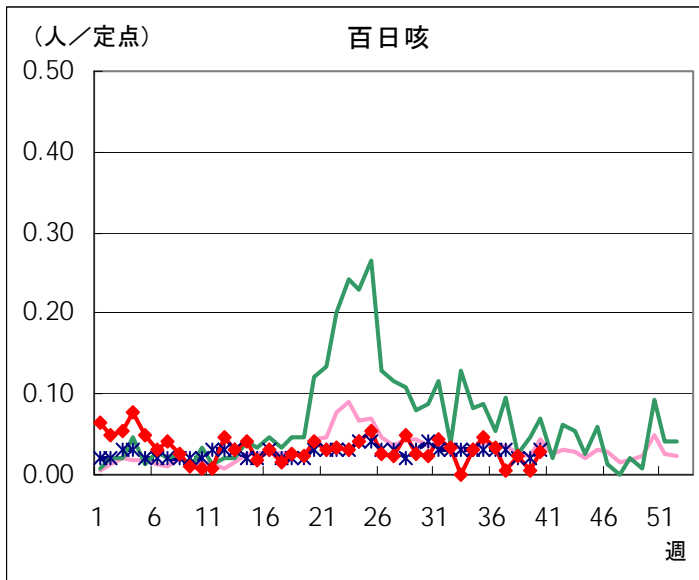
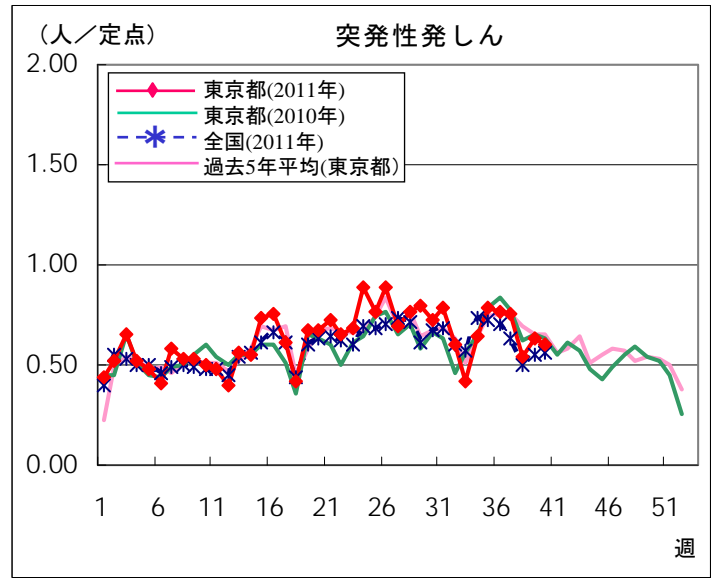
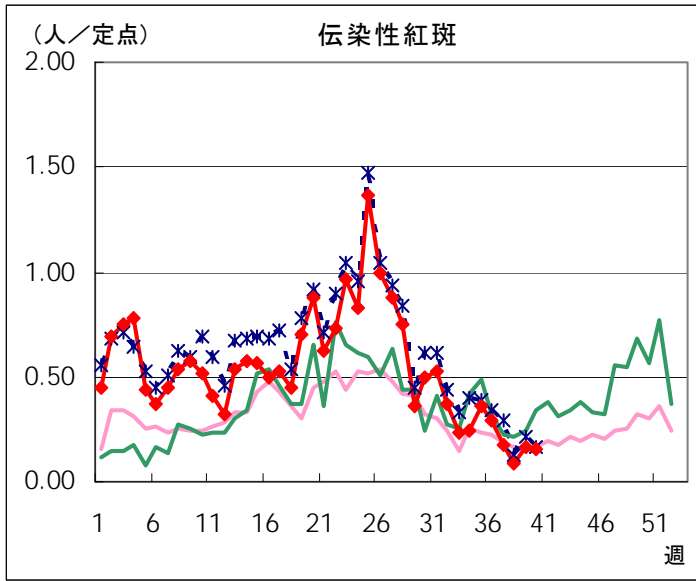
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田						
中央区		0.33				2.00
みなと				0.11		
新宿区	0.50		0.13			
文京	0.25					1.00
台東	0.25					
墨田区						
江東区	0.22		0.44	0.07		1.00
品川区	0.25					
目黒区						
大田区	0.17		0.08			
世田谷	0.13	0.06	0.38	0.12		
渋谷区						
中野区	1.14		0.29			2.00
杉並	0.50					
池袋	0.25					1.00
北区	0.57					1.00
荒川区	0.25					
板橋区	0.20		0.10			0.50
練馬区	0.38					0.50
足立	0.25		0.25			0.50
葛飾区			0.13			
江戸川	0.08		0.33			
八王子市	0.45		0.45			0.50
町田市	0.25			0.15		
西多摩	0.13		0.13			
南多摩	0.11		0.11			
多摩立川	0.07	0.07	0.21			
多摩府中	0.24		0.24			
多摩小平	0.20	0.07	0.13			2.00
島しょ						

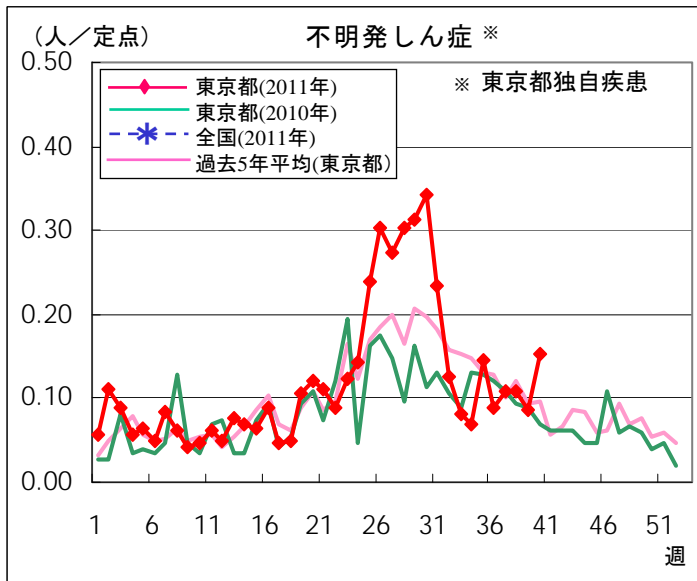
東京都	0.24	0.02	0.15	0.02	-	0.47
-----	------	------	------	------	---	------

# 定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2011年40週現在

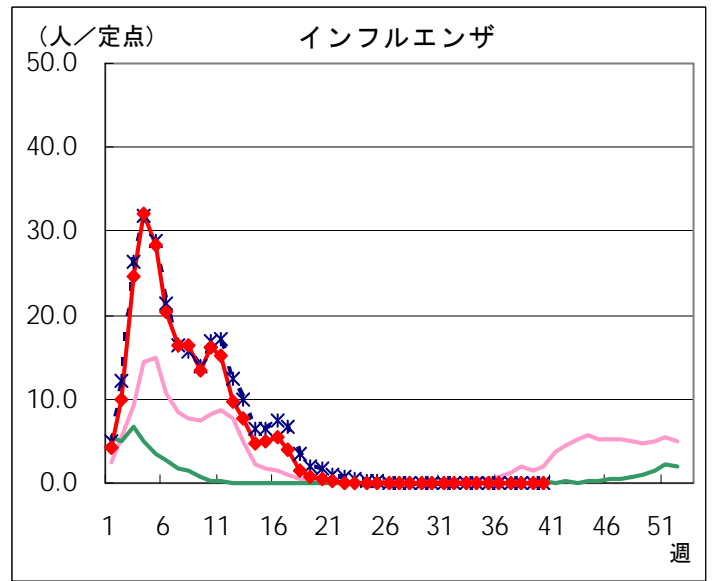
## ◆ 小児科定点



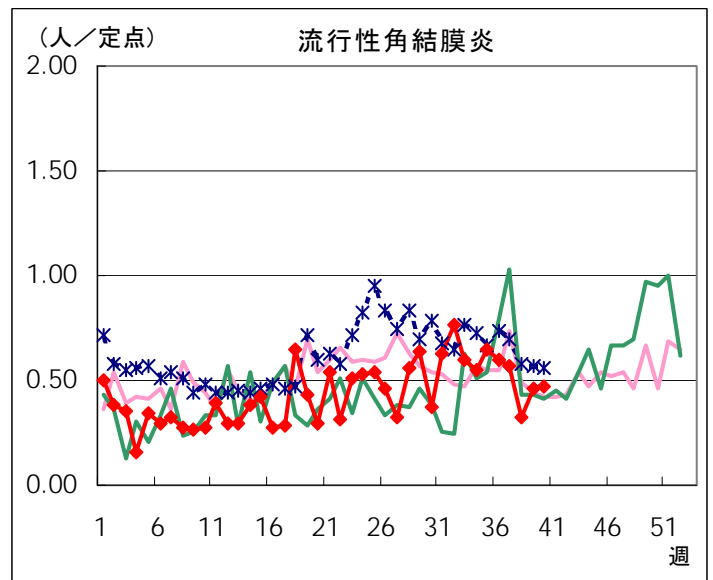
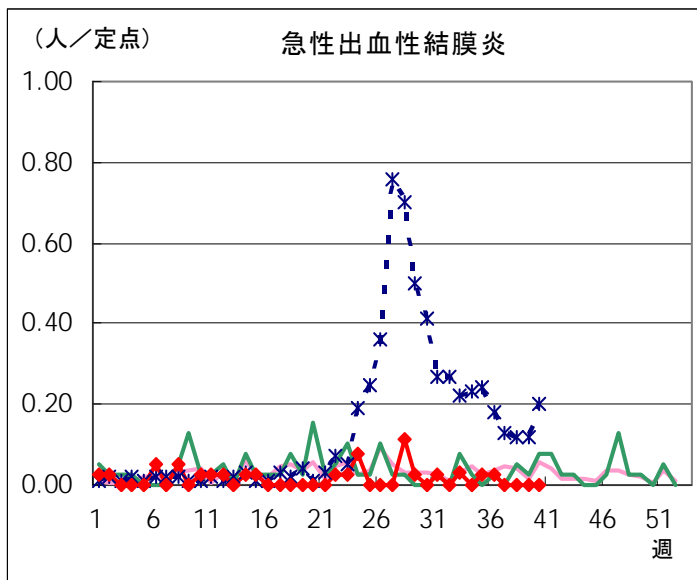




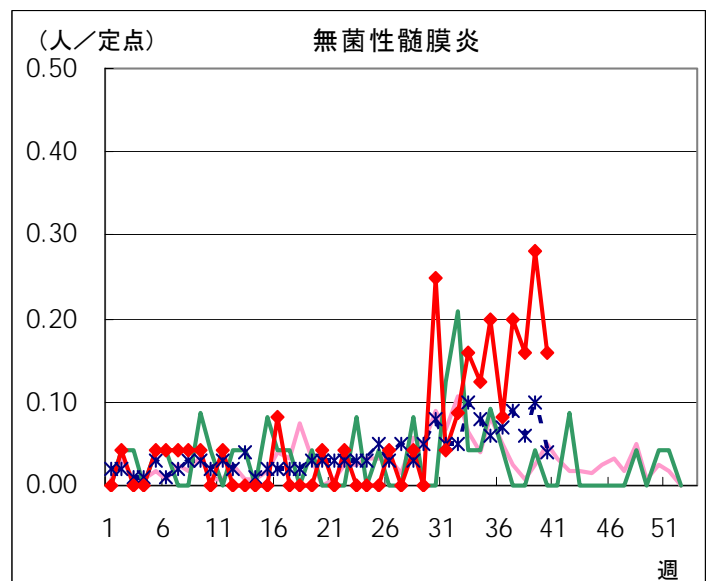
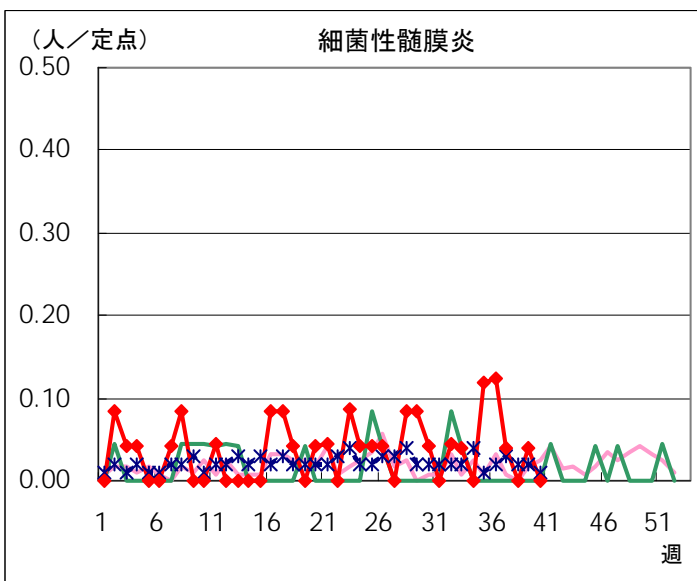
◆ インフルエンザ定点

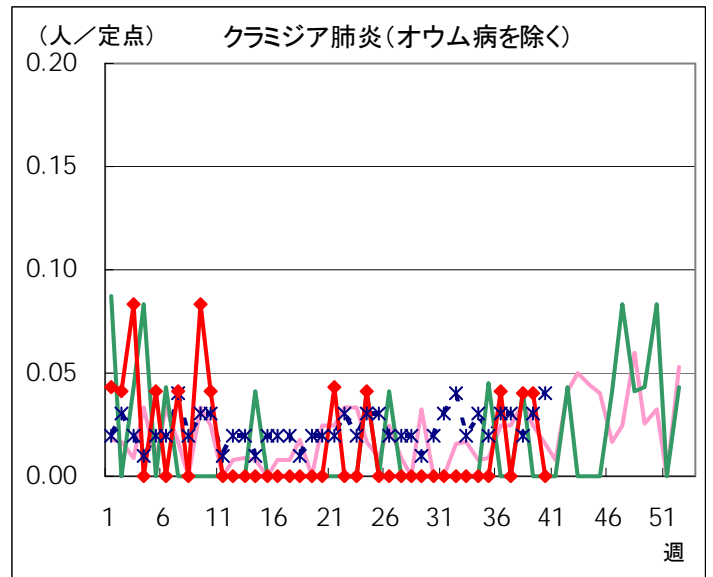
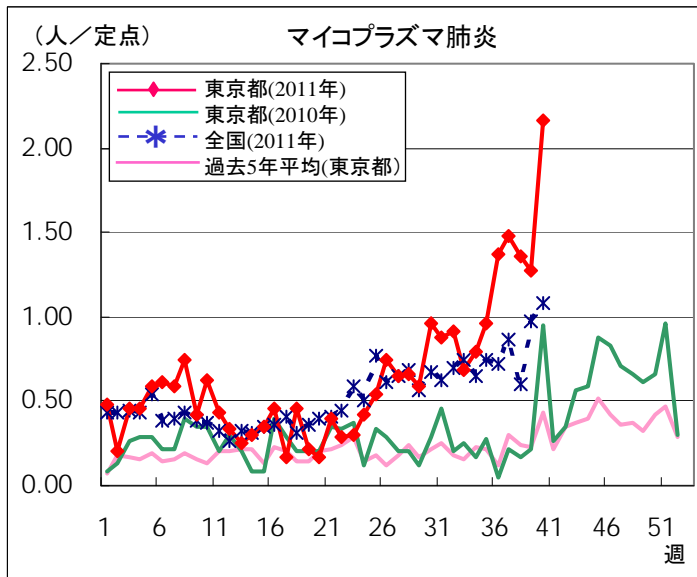


◆ 眼科定点

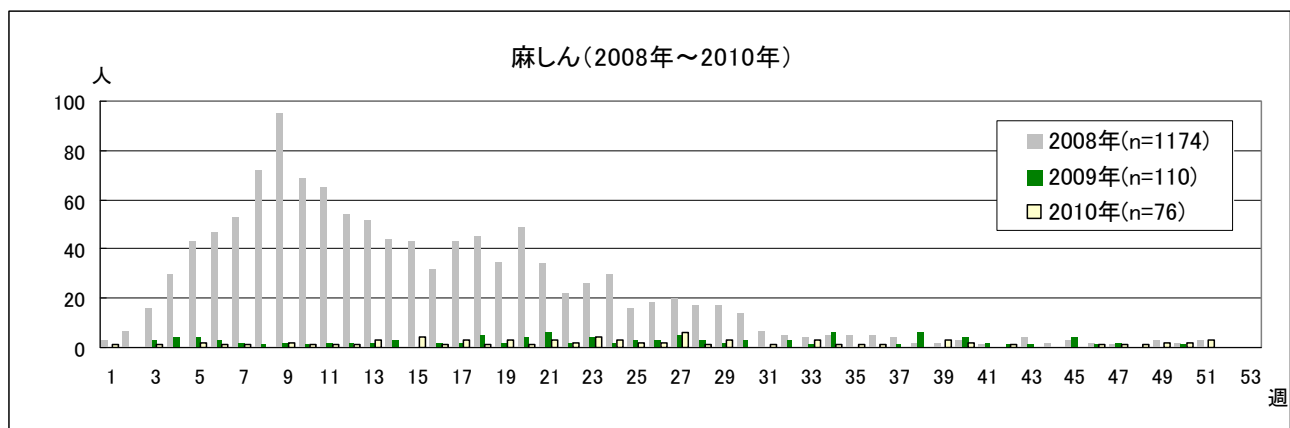
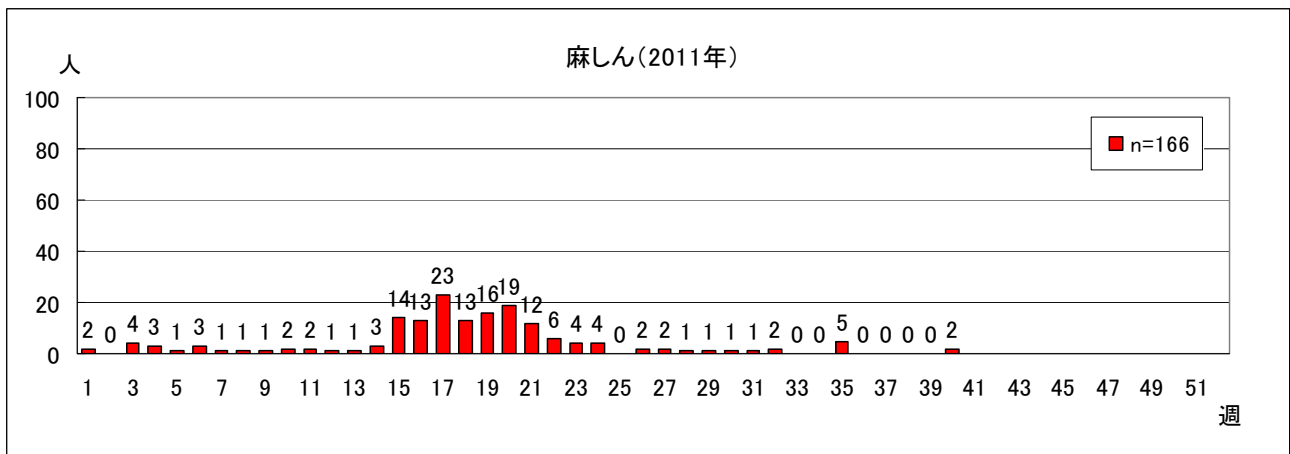


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2011年40週現在



## 定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
9/21	気管支炎	2M	鼻汁	ライノウイルス、RSウイルス	遺伝子
9/26	不明発しん症	5M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/27	髄膜炎	6M	髄液	エンテロウイルス	
9/29	乳児嘔吐下痢症	7M	糞便	エンテロウイルス	
9/22	急性胃腸炎	8M	咽頭拭い液	エンテロウイルス、アデノウイルス	
9/29	RSウイルス感染症	9M	咽頭拭い液	エンテロウイルス、RSウイルス	
9/20	手足口病	10M	直腸拭い液	エンテロウイルス	
9/21	手足口病	10M	咽頭拭い液	エンテロウイルス、RSウイルス 単純ヘルペスウイルス 1型	
9/30	不明発しん症	10M	咽頭拭い液	ライノウイルス	
9/27	急性咽頭炎	11M	咽頭拭い液	エンテロウイルス、RSウイルス	
9/20	RSウイルス感染症、上気道炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
9/24	咽頭扁桃炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
9/27	感染性胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス(G II)	
9/22	気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
9/22	気管支喘息	1	咽頭拭い液	ライノウイルス、アデノウイルス RSウイルス	
9/22	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
9/22	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス、アデノウイルス RSウイルス	
9/30	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス、RSウイルス	
9/30	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス、RSウイルス	
9/24	急性気管支炎、不明発しん症	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス、RSウイルス ヒトヘルペスウイルス 6型	
9/22	手足口病	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/28	手足口病	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス、アデノウイルス	
9/28	手足口病(単純ヘルペスウイルス感染症疑い)	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス 6型	
9/20	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
9/28	突発性発しん	1	記載なし	ヒトヘルペスウイルス 6型	遺伝子
9/26	不明発しん症	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/20	喘息性気管支炎	2	鼻汁	ライノウイルス	
9/28	急性扁桃腺炎	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/23	無菌性髄膜炎	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/26	ウイルス性肺炎	4	咽頭拭い液	ライノウイルス、RSウイルス	
9/26	急性扁頭炎	4	咽頭拭い液	アデノウイルス	
9/20	手足口病	4	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/20	手足口病	4	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/21	手足口病	4	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/26	扁頭炎 リンパ節腫脹(頸部)	5	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/23	無菌性髄膜炎疑い	5	髄液	エンテロウイルス	
9/26	流行性耳下腺炎	5	咽頭拭い液	ライノウイルス、ムンプスウイルス EBウイルス	
9/20	手足口病	6	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/29	手足口病	6	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/28	流行性耳下腺炎疑い	6	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
9/20	急性咽頭炎	7	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/29	夏風邪(手足口病疑い)	7	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/24	流行性耳下腺炎疑い	7	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
9/22	ウイルス性髄膜炎	8	咽頭拭い液	ライノウイルス	
9/17	急性咽頭炎 頸部リンパ節炎	8	咽頭拭い液	エンテロウイルス、EBウイルス	
9/21	無菌性髄膜炎	9	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/28	髄膜炎	25	糞便 髄液	エンテロウイルス	
9/17	不明発しん症	記載なし	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/29	咽頭炎、胃腸炎	記載なし	咽頭拭い液	エンテロウイルス、EBウイルス サイトメガロウイルス	

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2011年							
		32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週
ウイルス	アデノウイルス	7	3	7		5		1	7
	ライノウイルス	4			4	8	3	3	8
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群			3		1			
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	24	12	24	11	21	31	4	31
	単純ヘルペスウイルス			1	1		2		1
	水痘・帯状疱疹ウイルス				1				
	ヘルペスウイルス6/7	10	7	10	6	2	8		4
	EBウイルス	2		2	1	1	6	2	3
	サイトメガロウイルス	2							1
	ムンプスウイルス	4	1	1	1	1	1		3
	麻疹ウイルス								
	風しんウイルス								
	パルボウイルスB19	4		1			1		
	RSウイルス	1	4	1	1	4	5	1	13
	ノロウイルス								1
	ロタウイルス								
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3								
	インフルエンザウイルスB								
インフルエンザウイルスAH1pdm09									
デングウイルス(抗体を含む)									
その他のウイルス		1							
細菌	カンピロバクター	1		1					
	サルモネラ						1		
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌	1							
	溶血性レンサ球菌								
	百日咳								
	マイコプラズマ								
	その他の細菌								
その他の病原体									



病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2011年32週～2011年39週

臨床診断名 検出病原体		インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数		4	31	50	19	94	10		4	19	48	5	34	14	4	1		112	
ウイルス	アデノウイルス		4	5	2		5		1	1	4		2					6	
	ライノウイルス		1	7	1	6	1				2		5	1	1			5	
	ポリオウイルス																		
	コクサッキーウイルスA群																	4	
	コクサッキーウイルスB群																		
	エコーウイルス																		
	エンテロウイルス71																		
	その他のエンテロウイルス		15	14	5	30	3			14	43		12	2				20	
	単純ヘルペスウイルス					1				1	1								2
	水痘・帯状疱疹しんウイルス														1				
	ヘルペスウイルス6/7		1							4	15		15						12
	EBウイルス		4			1							1	3					8
	サイトメガロウイルス		1										1						1
	ムンプスウイルス					2								10					
	麻疹しんウイルス																		
	風しんウイルス																		
	パルボウイルスB19												4	1					1
	RSウイルス		4	19			1				1								5
	ノロウイルス				1														
	ロタウイルス																		
インフルエンザウイルスAH1																			
インフルエンザウイルスAH3																			
インフルエンザウイルスB																			
インフルエンザウイルスAH1pdm09																			
デングウイルス(抗体を含む)																			
その他のウイルス			1																
細菌	カンピロバクター				2														
	サルモネラ				1														
	腸管出血性大腸菌																		
	その他の腸管系病原菌				1														
	溶血性レンサ球菌																		
	百日咳																		
	マイコプラズマ																		
	その他の細菌																		
その他の病原体																			

## <感染症豆知識>

### コクシジオイデス症

コクシジオイデス症は米国南西部から中南米にかけてみられる疾患で、*Coccidioides immitis* および *C. posadasii* による真菌症です。健常人には肺に、免疫不全者には播種性の病気をおこします。国内でもまれにコクシジオイデス症に遭遇しますが、ほとんどの例が流行地からの帰国者です。土壌にいるコクシジオイデスの胞子が空中に舞い上がり、それをヒトが吸入することで感染が生じます。しかし無症状のことも多く、症状があっても一過性のかぜ様呼吸器症状を認めるのみで自然に軽快します(原発性肺コクシジオイデス)。しかし約 4%は症状が改善せず、肺に結節影、空洞影あるいはびまん性網状粒状影が見られます。このような場合には、抗真菌薬(フルコナゾールやイトラコナゾール)の長期投与や外科的切除が必要になります。免疫不全患者においては肺から播種性に皮下、骨、髄膜、リンパ節、肝臓などに病変を生じます。また原発性肺コクシジオイデスがいったん治癒した場合でも、臓器移植および HIV 感染症などにより免疫不全が進行すると、コクシジオイデスの残存病変の再活性化がおこり、播種性病変への進行がみられることがあります。播種性病変に至った例の予後は不良です。

コクシジオイデス症は 4 類感染症で、診断後ただちに届け出の必要がありますが、ヒトヒト感染はおこしません。ただし *C. immitis* は、検査室における取り扱いに関して細心の注意が必要です。培養しているシャーレのふたを不用意に開けただけで、胞子が舞い上がり検査技師や研究者に感染を生じる可能性があります。コクシジオイデス症の診断で最も重要なことは「流行地からの帰国という病歴」です。

(文責 東京都立駒込病院 味澤篤)